

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	10-5		
PDCA	主要事業名		消防団装備の充実・強化事業		部課名		総務部防災安全課			担当	横井		
											内線	286	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 1 - 1 単位施策： 消防・救急											目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用	
	全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 6 年度 全体事業費等： 6,499 千円												
	会計		一般会計			歳出科目： 08.01.02.02.51							
	事業概要等		事業概要： 消防団員が災害時に、安全かつ迅速な消防活動を行うために装備の充実、強化を図る。										
			事業目的： 消防団員が災害時に、安全かつ迅速な消防活動を行うために装備品の計画的な更新と強化を図る。										
			事業内容： 常備消防と同水準の耐火性能を備えた防火衣 3 6 着を更新配備する。										
			問題点・課題等： 東日本大震災において、多数の消防団員が犠牲となったことを踏まえ、団員の安全確保のために装備品の充実、強化を図る必要がある。										
	予算額		主要事業とする理由										
	6,499 千円		自主防災の要となる消防団員の安全確保、機能向上に直結する事業であるため。										
	財源内訳		得られる成果										
	市費		消防団活動における団員の安全の確保、組織力の強化、救助能力の向上を図る。										
	4,333 千円												
	国費												
0 千円													
県費		目標値や目指すべき状態				令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位				
2,166 千円		装備を活用した、実践的訓練や講習・研修への参加		実績値	1	3	—	回					
				目標値	3	3	3	回					
				実績値									
				目標値									
その他				実績値									
0 千円				目標値									
D 実績値 得られた成果と	決算額		得られた成果										主要施策の成果報告書で活用 評価項目（決算時に作成）
	6,321 千円		防火衣の配備により、団員の安全性が高まり、訓練を通じて機材を活用した、実践的な消火技能、救助能力が向上した。										
			成果指標						令和4年度	単位			
	装備を活用した、実践的訓練や講習・研修への参加				実績値		3		回				
					目標値		3		回				
C 課題の整理	事業の評価・課題		B										
			団員への負担軽減、技能強化を目的として、観閲式を実践訓練に改め、技能修練成果発表の場とした。配備した防火衣について、常備消防指導の下、取扱い方法や管理方法について指導を受けた。計画的な装備強化と、実践能力強化に向けた訓練実施が進められている。ポンプ操法はもとより、電動チェーンソーや無線機器の操作等、技能技術の承継、防火衣の使用後メンテナンス等維持管理が今後の課題となる。										
A 課題の決方向性	今後の事業の方向性		改善推進										
			計画的に装備の充実強化を進められている。今後は、装備機器の操作能力を高めていくとともに、機器の適切な維持管理が求められるため、実装した上での訓練や、機材の操作演習等を実施していく。消火技能のみならず、救助等様々な能力習得を進め、自主防災の要となる消防団のさらなる強化を図る。										
	観点別評価		必要性		有効性			効率性					
			①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献		中程度		⑦コスト削減	ない			
			②市民ニーズ	低い	⑤成果向上の余地		ある		余地				
		③休廃止の影響	小さい	⑥類似事業の有無		ない		⑧受益者負担適正化余地	ない				